

発行・飯山市議会
 編集：市議会だより
 編集委員会
 〒389-2292
 長野県飯山市大字飯山1110-1
 電話：0269-62-3111
 FAX：0269-62-0005
 インターネットホームページアドレス
<http://www.city.iiyama.nagano.jp/gikai/>
 E-mail:gikai@city.iiyama.nagano.jp

6月定例会概要

平成21年6月定例会は、6月8日から6月24日までの17日間の会期で行われました。
 平成21年度一般会計補正予算（総額7666万円）・平成21年度公共下水道事業特別会計補正予算（総額1650万円）・平成21年度水道事業会計補正予算（総額994万5000円）の補正予算案3件、平成21年度各会計の専決処分事項などの事件案21件、条例改正案3件の計27議案及び報告3件が市長から提出されました。



15日から17日にかけては、市政に対する一般質問に12名の議員が登壇し、18日、19日には総務・産業建設・社会文教委員会において、提出された議案について審議されました。
 最終日24日には、提出された議案はすべて原案のとおり可決・承認されました。また、請願1件を不採択、陳情1件を採択としました。

一般質問

6月定例会にて12名の議員が一般質問を行いました。



久保田幸治議員

◆千曲川河川改修と治水論議について

河川の治水対策については、上流に対しては関心を持って係わり、下流に対しては気配りを持った治水対策が必要であると考え、3点ほど伺いたい。

1. 浅川ダム建設に対する市の対応について

一方で保護者からは好評の面もある。始まったばかりなので、今後円滑に実施できるよう工夫していきたい。



通園バス



西條豊致議員

◆安心安全な飯山市へ樽川と千曲川の治水について

樽川の浚渫と整備について、本年度で災害復旧工事が完了する。木島の水害は昭和以後3度の樽川堤防の決壊であり、これも千曲川の逆流によるもの。戸狩狭窄部の改善が進まない時

【質問】ダム建設に対し、治水対策について当市ではどのような姿勢で、要望、要求等含めどの様に係わりを来たしたのか。

【市長】飯山市の治水を考えると浅川ダム建設についてはあえて「反対せず」、千曲川全体として、下流への流入を制水してもらいたい。今後もしっかり取り組んでいきたい。

2. 下流の治水対策について（戸狩以北）

【質問】上流での開削、河床の浚渫等議論しているが、戸狩以北の治水対策は今後どの様に進めていくのか。

【市長】上流、下流のバランスを取り、今後道路も含め国、県に要望していく。

3. 防災でなく減災について

【質問】防災から減災に政策変更していく必要があると思うが。

【市長】河川管理については、その時々土木技術を持って対応してきた。どんなに金を投資しても、高度の技術力を持ってしても、自然力の前には完全な防災はできない。市民に早めに情報



エコパーク寒川

を流すと共に、今月中に配布予定のハザードマップにより、事前に確認し被害を最小限に抑えたい。

◆環境対策事業に対しての取り組みについて

【質問】行政は、その事業単独の収益性だけでは語れないものがあると思うが、市では収益性、費用対効果とはどの様にとらえているのか。

【市長】買って来るの方が安い、早いという考えをやめて、まだ具体的には何も無いがこれから取り組んでいく。



小林喜美治議員

◆平成20年度の決算見込みについて

【質問】6月議会に最終補正が提案されているが、平成20年度の決算見込みとその特徴について、主な事業の執行状況、繰越金と各種基金と公債残高の状況について。

【部長】主な事業の執行は、ほぼ予算計画通り執行できた。繰越金については5億5500万円ほどで、除雪関連経費の減額が主な要因。若干の余裕ができたところである。各種基金については当初予定していた減債基金の取り崩しをやめたこと、退職手当基金は積み立てを行った。市の徴収率は88・19%で約2%改善し、6200万円ほどの歳入超過となった。交付税については、普通交付税、特別交付税全体で2億6500万円の歳入超過となった。公債費につ

ては、繰上償還も含め元金・利息とも約22億円の支出となった。20年度末の公債残高は、19年度末残高と比べ約12億円の減となった。

◆保育行政について

【質問】保育料改定懇談会の開催の時期であるが、平成21年度の保育料についてはどのような方針か。また、保育園通園バスの運行の添乗業務について、今年から保育士による添乗になったと聞くが、移行した経緯について、職員への過重負担となっていないか。職員の増員の計画はあるのか。

【教育長】保育料については、本年度の基準額は改正にならない。当市の保育料基準額は国の基準より低い額であり、本年度は据え置きが妥当と考えている。通園バスの職員の添乗について、保育園統合の際保護者から要望がありそれに応えたいもので、市内5園で今年から実施している。各保育園から事務や行事の時間がとりにくい、会議や研修が組みにくいなどの問題点が出され

でもあり、残る樽川堤の補強工事を継続すべき。

【部長】平成16、18年度の豪雨の漏水箇所は本年度で完了する。今後も異常が認められた時は県に報告していく。増水時の写真や記録をお願いしたい。蛭川樋門下流の浚渫は県に要望していく。天神堂樋門下流の浚渫及び雑木除去も引き続き要望して行く。河川整備計画の骨子案は6月に作成と聞く、またより次第住民懇談会を開催する。

【質問】大川の改修計画について、数年前に計画された昨年測量がなされたが今年

の予定は。

【部長】20年度120m用地測量を実施したが、21年度予算確保がなされなかった。引き続き要望していく。

【質問】基幹水利ストック

マネジメント事業の進捗について、早急に工事をされたい。

【部長】5月20日付で国庫補助事業で3億円の事業費が採択された。県と協議し、

連絡協議会で承認を得て、早期着工をめざしたい。



樽川堤防の草刈作業

【質問】公民館の生涯学習として謡曲の普及充実をはかられたい

【教育委員長】過去何回か講座を企画したが募集定員も半分に満たず、今3謡曲グループが活動している。市民の要望により企画したい。